

嘉麻市食料・農業・農村政策審議会 会議録

1. 審議会等の名称 平成29年度第1回嘉麻市食料・農業・農村政策審議会
2. 開催日時 平成29年11月7日（火） 13:30～14:30
3. 開催場所 嘉麻市役所 嘉穂庁舎1階 ミーティングルーム
4. 公開、非公開の別 公開
5. 出席者

(1) 出席委員

委員	出欠	委員	出欠	委員	出欠
◎梅野 重雄	出	○石井 薫	出	大塚 裕子	出
山本 博	欠	古賀 恵美子	欠	福澤 慶子	出
吉貝 東亜子	出	中村 由美	出	萩尾 邦広	出

◎印は会長、○印は副会長

(2) 執行機関

農林振興課長 大津 雅郁 課長補佐 鎌田 一誠 農政係長 松岡 雄二

6. 傍聴人数 0人
7. 議題及び審議の内容 以下のとおり

《質疑・意見》

1. 嘉麻市食料・農業・農村基本計画の見直し方針（案）について

（※事務局より、「中期目標の実数値の算出及び後期目標の達成可否の検証」、「嘉麻市の農業に関する統計データについて最新データ（2015 農林業センサス等）への置換」の見直し方針について説明）

梅野会長 事務局より説明があった見直し方針（案）について、ご意見はないか。

（※意見なし）

梅野会長 中期目標の実数値の算出及び後期目標の達成可否の検証、「嘉麻市の農業に関する統計データについて最新データ（2015 農林業センサス等）への置換の2点を見直し方針とする。

2. 基本計画中期目標の実数値の算出及び後期目標値の達成可否の検証（案）について

（※事務局より、中期の実数値及び後期目標値の修正（案）について説明）

梅野会長 事務局より説明があった修正（案）について、ご意見はないか。

福澤委員 審議内容とは直接に関係しないが、嘉麻市の米は美味しいと評判であり、理由は綺麗な空気と綺麗な水によって作られているからだと思っている。
ところが、5月に発生したエコテック火災によって空気、水がともに汚され嘉麻市の米は駄目なんじゃないかとの風評が起きている。

このため、行政として今後このようなことが起きないようにお願いしたい。

事務局 福澤委員からのご意見は、県及び所管課に繋いでおきます。

中村委員 農業者人口が減るなか、若い農業者の増加及び育成が急務であると考えます。そのためには、農業で生計が成り立つ所得確保が必要と考えるが、国の政策では米の直接支払交付金が無くなるなど、以前にもまして所得確保が難しくなっている。

そこで市として所得確保に向けた対策等はないのですか？

事務局 米に関しては、国は需要に関する情報を公開し、生産を生産者の経営判断に任せるとの姿勢であり、これを受けて全国の農業者の動向が気になるところです。市としては、この動向と国の政策を見ながら対策を検討したいと考えています。

石井副会長 食育の推進において、取り組む小学校数は増加しているものの、イベント数は減少している。米離れが進むなか、やはり子どもから意識を変えていくことは有効な手段と考える。また、今の子どもは、カット野菜などの加工品が普及していることで、キャベツなどの青果を知らなかったりする。こういったことから小中学校における食育の取組みを増やしてほしい。

事務局 石井副会長からのご意見は、所管課に繋いでおきます。

福澤委員 以前に地域振興券を発行した際に、米が安いということで、都市圏から多くの方が米を買いにこられ、嘉麻市の米は美味しいという感想をよく耳にした。そういった方は、今後も嘉麻市の米を買われると思うし、宣伝効果は高いので、またやってほしい。

事務局 福澤委員からのご意見は、所管課に繋いでおきます。

梅野会長 ほかに後期目標値の修正（案）についてご意見ありますか？

（※意見なし）

梅野会長 それでは、この後期目標値の修正（案）にて、基本計画の見直し（案）の作成をお願いします。

（閉会）

平成29年度 第1回 嘉麻市食料・農業・農村政策審議会

日時：平成29年11月7日13:30

場所：嘉麻市役所嘉穂庁舎相談室1

(委員)

委員名	出欠	委員名	出欠	委員名	出欠
梅野会長		山本委員		吉貝委員	
石井副会長		古賀委員		中村委員	
大塚委員		福澤委員		萩尾委員	

1 会長あいさつ

2 協議事項

(1) 嘉麻市食料・農業・農村基本計画の見直し方針（案）について

(2) 基本計画中期目標の実数値の算出及び後期目標値の達成可否の検証（案）について

3 その他

嘉麻市食料・農業・農村政策審議会委員名簿

(平成 29 年 4 月 1 日現在)

氏 名	推薦機関	備 考
梅 野 重 雄	嘉麻市環境保全型農業組織	会 長
石 井 薫	福岡嘉穂農業協同組合	副会長
大 塚 裕 子	嘉麻市農業委員会	
山 本 博	嘉麻市農事区長会	
古 賀 恵美子	飯塚普及指導センター	
福 澤 慶 子	嘉麻市食生改善活推進会	
吉 貝 東亜子	農事組合法人カッホー馬古屏	
中 村 由 美	福岡嘉穂農業協同組合	
萩 尾 邦 広	福岡嘉穂農業協同組合	

※任期：平成 28 年 9 月 1 日～平成 30 年 8 月 31 日

嘉麻市食料・農業・農村基本計画の見直し方針（案）

1 国、県、市の計画策定・見直し状況

（国）

- ・平成 11 年 7 月 食料・農業・農村基本法制定
- ・平成 12 年 3 月 〃 計画策定
- ・平成 22 年 3 月 〃 計画見直し
- ・平成 27 年 3 月 〃 計画見直し

（県）

- ・平成 13 年 7 月 福岡県農業・農村振興条例制定
- ・平成 14 年 3 月 〃 計画策定
- ・平成 18 年 6 月 〃 計画見直し
- ・平成 24 年 3 月 〃 計画見直し
- ・平成 26 年 12 月 福岡県農林水産業・農山漁村振興条例制定
上記条例制定に伴い、福岡県農業・農村振興条例廃止
- ・平成 29 年 3 月 福岡県農林水産振興基本計画策定

（市）

- ・平成 19 年 3 月 嘉麻市食料・農業・農村基本条例制定
- ・平成 24 年 9 月 〃 計画策定
- ・平成 28 年 11 月 〃 政策審議会開催

（会議内容）

- ・委嘱書交付、本計画見直し諮問（別紙参照）
- ・市より今回の計画見直しについては、必要最小限なものとし、平成 29 年 3 月に出る 2015 農林業センサスを受けて見直しを行うことを説明し会議終了

2 見直し方針

- （1）中期目標の実数値の算出及び後期目標値の達成可否の検証を行う。
 - ・基本計画見直し箇所：P 20～P 22
- （2）嘉麻市の農業に関する統計データについて最新データ（2015 農林業センサス等）に置き換える。
 - ・基本計画見直し箇所：P 35～P 39

3 今後の開催予定

- ・第 2 回 12 月中旬 計画見直し内容の確認、答申

2-2 基本計画の目標（案）

「食で元気、農業も元気、農村が元気 豊かな嘉麻」の基本理念のもと、嘉麻市の食料と農業と農村の将来像を実現するために以下9項目の基本目標を設定します。

【食料に関する目標】

①地産地消

地域の安心・安全な農産物を市民により多く消費してもらえよう、優秀な農家の活動を市民にお知らせするとともに、農家には市内の直売所の一層の活用を促進し、市民にとって利用しやすい直売所のあり方を研究します。

	現状		中期				後期	
	年度	現状値	年度	目標値	実績値	後期目標値の達成可否	年度	目標値
3つの農産物直売所への出荷者数	H23	824人	H28	900人	686人	カッホー馬古屏・山田活性化センターの出荷者数は年々減少しており、後期目標値の達成が困難と見込まれるため、当該目標値を見直す。 ・道の駅うすい：292人 ・カッホー馬古屏：331人 ・山田活性化センター：63人	H32	850人 (950人)
3つの農産物直売所の利用者数	H23	709,065人	H28	780,000人	596,392人	カッホー馬古屏・山田活性化センターの利用者数は年々減少しており、後期目標値の達成が困難と見込まれるため、当該目標値を見直す。 ・道の駅うすい：404,000人 ・カッホー馬古屏：176,888人 ・山田活性化センター：15,504人	H32	710,000人 (820,000人)

※()は当初目標値

②食育の推進

教育現場と家庭や直売所が連携をとって食育の一層の推進を図ることにより元気で健康な市民生活を支援します。また、子どもたちに地域の豊かな食文化を継承するとともに農業に関する理解の促進に努めます。

	現状		中期				後期	
	年度	現状値	年度	目標値	実績値	後期目標値の達成可否	年度	目標値
食育に取り組む小学校数	H23	6校	H28	8校	8校	全小学校実施済	H32	8校
児童生徒対象食育イベント数	H23	32回	H28	35回	26回	中期実績値では、後期目標値の達成が困難と見込まれるため、当該目標値を見直す。	H32	35回 (40回)

※()は当初目標値

③食料、農業及び農村に関する情報発信

嘉麻市の食、食文化、農産物の特色、田園風景の美しさ、水の豊かさ、中山間地域における棚田米、平坦地における特別栽培米等の情報を積極的に発信し、嘉麻市農業の存在感を増す努力をします。

	現状		中期				後期	
	年度	現状値	年度	目標値	実績値	後期目標値の達成可否	年度	目標値
マスコミへの登場回数	H23	6回/年	H28	12回/年	7回/年	中期実績値では、後期目標値の達成が困難と見込まれるため、当該目標値を見直す。 ・ひまわりフェスタ in 熊ヶ畑 ・嘉麻りんご村フェア ・福岡九州クボタとの協定（タマネギの産地化） ・トロッコフェスタ&つつじ祭り ・トロッコフェスタ&かかし祭り ・嘉麻ふれあいまつり ・道の駅うすい「秋の嘉麻騒ぎ」	H32	10回/年 (20回/年)

※()は当初目標値

【農業に関する目標】

④多様な担い手の育成確保、産地育成及び農業経営の確立

新規就農者、中堅年代就農者、若年就農者等の多様な農業の担い手を育成、確保するとともに、集落営農、認定農業者、農業生産法人等の効率的で安定的な経営体の育成に努めます。

	現状		中期				後期	
	年度	現状値	年度	目標値	実績値	後期目標値の達成可否	年度	目標値
新規就農者数	H23	3人	H28	6人	10人	このままのペースでいけば、後期目標値を達成できると見込まれる。	H32	12人
中堅年代就農者比率 (30～64歳就農者比率)	H23	33%	H28	38%	31%	当該年代の就農者数は、H27年農林業センサスではH22年比で20%余り減少しており、後期目標値の達成が困難と見込まれるため、当該目標値を見直す。 ・30～64歳就農者数:377人 ・全就農者数:1201人	H32	35% (42%)
若年就農者比率 (15～29歳就農者比率)	H23	8%	H28	10%	5%	当該年代の就農者数は、H27年農林業センサスではH22年比で13%余り減少しており、後期目標値の達成が困難と見込まれるため、当該目標値を見直す。 ・15～29歳就農者数:57人	H32	10% (12%)
集落営農法人数	H23	3(8)	H28	5(8)	5(17)	このままのペースでいけば、後期目標値を達成できると見込まれる。	H32	8(8)
認定農業者数	H23	87	H28	100	94	このままのペースでいけば、後期目標値を達成できると見込まれる。	H32	110

※集落営農法人数のカッコ書きについては、現在の集落営農組織数

⑤地域で生産される農産物の信頼確保

嘉麻市の農産物において無・減農薬栽培、有機栽培作物に携わる農家数を増大させ本市の農作物の安全・安心性を高め、その信頼を確保します。

	現状		中期				後期	
	年度	現状値	年度	目標値	実績値	後期目標値の達成可否	年度	目標値
無・減農薬栽培農産物出荷農家数	H23	310 戸	H28	350 戸	242 戸	特別栽培米が 233 戸、エコファーマー（水稲除く）が 9 戸である中期実績値では、後期目標値の達成が困難と見込まれるため、当該目標値を見直す。	H32	350 戸 (400 戸)

※()は当初目標値

⑥女性農業者の活動支援

女性農業者の社会参画を促進するとともに、経済的な自立を図るために、女性が農業に従事する際に障害となりやすい子育てについての支援策を講じるなど、女性が就農しやすい環境を整備します。

	現状		中期				後期	
	年度	現状値	年度	目標値	実績値	後期目標値の達成可否	年度	目標値
女性就農者数	H23	754 人	H28	1,000 人	591 人	中期実績値では、後期目標値の達成が困難と見込まれるため、当該目標値を見直す。	H32	800 人 (1,050 人)
家族経営協定締結数	H23	6	H28	10	19	達成済	H32	15

※()は当初目標値

【農村に関する目標】

⑦生産基盤の維持、保全等による多面的機能の発揮

耕作放棄地等により多面的機能の低下が懸念される中山間地域においては、集落協定の推進を図ることにより耕作放棄地の解消・農業生産の維持等を図りながら農地の多面的機能を確保します。

	現 状		中 期				後 期	
	年度	現 状 値	年度	目 標 値	実 績 値	後 期 目 標 値 の 達 成 可 否	年度	目 標 値
耕作放棄面積	H23	130ha	H28	120ha	138ha	中期実績値では、後期目標値の達成が困難と見込まれるため、当該目標値を見直す。	H32	120ha (110ha)
中山間地域等直接支払 取組集落	H23	15	H28	19	22	達成済	H32	21

※中山間地域等直接支払制度については事業が継続した場合を想定。

⑧農地、農業用水その他の農業資源の確保及び環境保全

合併浄化槽等の整備により、生産基盤を維持、保全し農村の環境保全に努めます。

	現 状		中 期				後 期	
	年度	現 状 値	年度	目 標 値	実 績 値	後 期 目 標 値 の 達 成 可 否	年度	目 標 値
合併浄化槽人口普及率	H23	26.7%	H28	40%	41.7%	このままのペースでいけば、後期目標値を達成できると見込まれる。	H32	60%
農地・水・環境保全向上 対策活動組織	H23	13	H28	15	35	達成済 H26年度から「多面的機能支払制度」に変更	H32	20

※農地・水・環境保全向上対策については事業が継続した場合を想定。

⑨グリーンツーリズムの推進

本市と農村の相互理解と本市の活性化を図るために、都市との交流を活発化させます。そのためには、本市の農産物直売所を主体とした取り組み、市外のネットワーク組織の活用などを図る必要があります。

	現状		中期				後期	
	年度	現状値	年度	目標値	実績値	後期目標値の達成可否	年度	目標値
交流人口(観光入込客数)	H23	1,187 千人	H28	1,300 千人	1,101 千人	中期実績値では、後期目標値の達成が困難と見込まれるため、当該目標値を見直す。 ※実績値は H27 福岡県観光入込客推計調査による。	H32	1,300 千人 (1,500 千人)

※()は当初目標値

農家数の推移

(戸)

	2005年 (H17年)	2010年 (H22年)	2015年 (H27年)	増減率(%) (H27-H22)/H22×100
農家数	1,409	1,267	1,076	-15.1
販売農家	1,144	986	828	-16.0
旧山田市	79	61	51	-16.4
旧稲築町	166	151	132	-12.6
旧碓井町	227	196	165	-15.8
旧嘉穂町	672	578	480	-17.0
自給的農家	265	281	248	-11.7
旧山田市	42	34	27	-20.6
旧稲築町	62	56	48	-14.3
旧碓井町	59	70	55	-21.4
旧嘉穂町	102	121	118	-2.5

資料:「農林業センサス」

- ・販売農家:経営耕地面積が30a以上又は農産物販売金額が50万円以上の農家
- ・自給的農家:販売農家以外の農家

販売農家の推移

(戸)

	2005年 (H17年)	2010年 (H22年)	2015年 (H27年)	増減率(%) (H27-H22)/H22×100
販売農家	1,144	986	828	-16.0
旧山田市	79	61	51	-16.4
旧稲築町	166	151	132	-12.6
旧碓井町	227	196	165	-15.8
旧嘉穂町	672	578	480	-17.0
専業農家	406	252	254	0.8
旧山田市	32	24	17	-29.2
旧稲築町	63	38	46	21.1
旧碓井町	80	62	52	-16.1
旧嘉穂町	231	128	139	8.6
兼業農家	738	734	574	-21.8
旧山田市	47	37	34	-8.1
旧稲築町	103	113	86	-23.9
旧碓井町	147	134	113	-15.7
旧嘉穂町	441	450	341	-24.2

資料:「農林業センサス」

- ・専業農家:世帯員のうちに兼業従事者が1人もいない農家
- ・兼業農家:世帯員のうちに兼業従事者が1人以上いる農家

農家種別数の推移

(戸)

	2005年 (H17年)	2010年 (H22年)	2015年 (H27年)	増減率(%) (H27-H22)/H22×100
販売農家	1,144	986	828	-16.0
山田地区	79	61	51	-16.4
稲築地区	166	151	132	-12.6
碓井地区	227	196	165	-15.8
嘉穂地区	672	578	480	-17.0
主業農家	202	168	149	-11.3
山田地区	14	10	9	-10.0
稲築地区	26	25	22	-12.0
碓井地区	29	30	30	0.0
嘉穂地区	133	103	88	-14.6
準主業農家	241	250	175	-30.0
山田地区	15	16	6	-62.5
稲築地区	53	42	40	-4.8
碓井地区	46	39	28	-28.2
嘉穂地区	127	153	101	-34.0
副業的農家	701	568	504	-11.3
山田地区	50	35	36	2.9
稲築地区	87	84	70	-16.7
碓井地区	152	127	107	-15.7
嘉穂地区	412	322	291	-9.6

資料:「農林業センサス」

- ・主業農家:農家所得が主で、65歳未満の農業従事60日以上の方がいる農家
- ・準主業農家:農外所得が主で、65歳未満の農業従事60日以上の方がいる農家
- ・副業的農家:65歳未満の農業従事60日以上の方がいない農家

農業就業人口の年齢構成(販売農家)

(人)

	2005年 (H17年)	2010年 (H22年)	2015年 (H27年)	増減率(%) (H27-H22)/H22×100
嘉麻市総数	1,836	1,469	1,201	-18.2
15歳～29歳	152	66	57	-13.6
山田地区	11	4	3	-25.0
稲築地区	36	20	12	-40.0
碓井地区	22	10	11	10.0
嘉穂地区	83	32	31	-3.1
30歳～59歳	428	305	222	-27.2
山田地区	24	18	9	-50.0
稲築地区	80	55	41	-25.5
碓井地区	74	51	36	-29.4
嘉穂地区	250	181	136	-24.9
60歳～64歳	186	183	155	-15.3
山田地区	9	13	12	-7.7
稲築地区	25	33	30	-9.1
碓井地区	43	43	23	-46.5
嘉穂地区	109	94	90	-4.3
65歳以上	1,070	915	767	-16.2
山田地区	86	56	49	-12.5
稲築地区	161	134	124	-7.5
碓井地区	190	183	159	-13.1
嘉穂地区	633	542	435	-19.7

資料:「農林業センサス」